

平成17年1月12日

宇都宮市上下水道事業管理者
上下水道局長 今井利男様

再評価委員
宇都宮大学大学院教授
長谷部 正彦

水道水源開発等施設整備事業の再評価

標記については、下記の理由により湯西川ダム建設事業による整備は、適切であり事業を継続すべきであると判断いたします。

- 1 水需給の動向については、社会経済状況の変化に対応して、水需要予測を見直しており適正なものと判断できる。
- 2 水需要予測結果や地下水源能力調査結果、各水源の浄水コストなどの比較検討を行い、湯西川ダムからの取水量を約半量に減量するなど、適切に水源構成を見直しており妥当である。
- 3 湯西川ダム建設事業費が大幅に増額されたが、国土交通省ではコスト縮減等への取組が行われており評価できる。今後も環境への配慮を図りながら積極的にコスト縮減に取り組むべきである。
- 4 湯西川ダムからの取水量を $0.61 \text{ m}^3/\text{s}$ ($52,700 \text{ m}^3/\text{日}$) から $0.3 \text{ m}^3/\text{s}$ ($25,900 \text{ m}^3/\text{日}$) に減量することが、宇都宮市にとって最も有利であり、現時点で代替案がないことから適正なものと判断できる。

以上

